

【Q】 「年度更新」と「新規DBの作成(複写)」の具体的なイメージを教えてください。

【A】 下記の4パターンあります。
 ※年度更新で 2 パターン(ⅠとⅡ)、新規DBで2パターン(ⅢとⅣ))となります。
 ⅡとⅣのケースに注意が必要です。

	別年度システムへの更新	同一年度システム内での更新
年度更新	Ⅰ 通常の場合 (例)3 月決算法人が、当年度システムに、前期の確定申告から、当期の予定申告を作成する場合	Ⅱ 注意が必要なケース (例)3 月決算法人が、前年度システムに、前期の確定申告から、当期の翌第1四半期を作成する場合 ※当年度システム提供前の場合
新規DB	Ⅲ 注意が必要なケース (例)3 月決算法人が、当年度システムに前年度システムで作成済みの当期の翌第1四半期から、当期の第2四半期を作成する場合 ※Ⅱのケースで作成した前年度システムの当期のデータから、当年度システムへデータを作成する場合	Ⅳ 通常の場合 (例)3 月決算法人が、当年度システムに当期の予定申告から、当期の確定申告を作成する場合

具体的なイメージは下記となります。

※前期が令和2年 3 月期、当期が令和3年 3 月期の 3 月決算を例に説明します。

※3 月決算以外は、(ⅡとⅢとⅣ)のケースになります。

3 月決算は、(ⅠとⅣ)若しくは(ⅡとⅢとⅣ)のケースとなります。

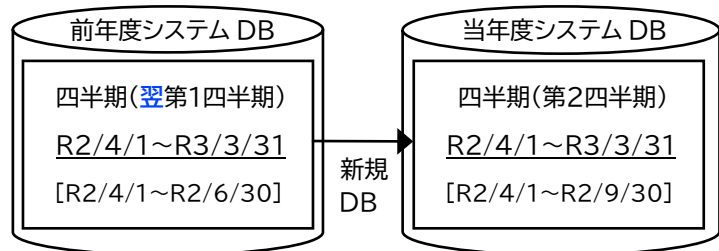
処理ケース	処理イメージ		
I 別年度システムへの年度更新 (通常のケース) (例) 3 月決算法人が、当年度システムに 前期の確定申告から、当期の予定申告 を作成する場合	期	前期	当期
	システム	前年度版 (令和元年度版)	当年度版 (令和2年度版)
	事業年度	H31/4/1~R2/3/31	R2/4/1~R3/3/31
	処理区分 (データ名)	確定申告	予定申告
	計算処理期間		
	備考	年度更新時に選択するシステム年度は、更新先の 当年度(令和 2 年度版)を選択します。	
II 同一年度システム内での年度更新 (注意が必要なケース) (例)3 月決算法人が、前年度システムに、 前期の確定申告から、当期の翌第1四 半期を作成する場合 ※当年度システム提供前の場合	期	前期	当期
	システム	前年度版 (令和元年度版)	前年度版 (令和元年度版)
	事業年度	H31/4/1~R2/3/31	R2/4/1~R3/3/31
	処理区分 (データ名)	確定申告	月次試算・四半期試算 (翌第 1 四半期)
	計算処理期間		R2/4/1~R2/6/30
	備考	年度更新時に選択するシステム年度は、更新先の 前年度(令和元年度版)を選択します。	

III 別年度システムへの新規DB

(注意が必要なケース)

(例)3 月決算法人が、当年度システムに
前年度システムで作成済みの
当期の翌第1四半期から
当期の第2四半期を作成する場合
※IIのケースで作成した前年度
システムの当期のデータから、
当年度システムへデータを
作成する場合

期	当期	当期
システム	前年度版 (令和元年度版)	当年度版 (令和2年度版)
事業年度	<u>R2/4/1~R3/3/31</u>	<u>R2/4/1~R3/3/31</u>
処理区分 (データ名)	月次試算・四半期試算 (<u>翌</u> 第1四半期)	月次試算・四半期試算 (第2四半期)
計算処理期間	R2/4/1~R2/6/30	R2/4/1~R2/9/30
備考	新規DB時に選択するシステム年度は、 作成先の 当年度版(令和2年度版) を選択します。	



IV 同一年度システム内での新規DB

(通常のケース)

(例)3 月決算法人が、当年度システムに
当期の予定申告から、当期の確定申告
を作成する場合

期	当期	当期
システム	当年度版 (令和2年度版)	当年度版 (令和2年度版)
事業年度	<u>R2/4/1~R3/3/31</u>	<u>R2/4/1~R3/3/31</u>
処理区分 (データ名)	予定申告	確定申告
計算処理期間		
備考	新規DB時に選択するシステム年度は、作成先の 当年度版(令和2年度版)を選択します。	

